

小山工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	英語演習Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号		0023		科目区分	一般 / 選択		
授業形態		講義・演習		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科		機械工学科		対象学年	5		
開設期		後期		週時間数	2		
教科書/教材		BEFORE-AFTER PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST Revised Edition Jonathan Lynch 他 (Cengage Learning)					
担当教員		吉村 理英,津谷 雅子					
到達目標							
1.テキストの文法、構文の要点を説明でき、問題を解くことができる。 2.テキストに出てくる語彙や表現を理解し、使用できる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		Part1,2,3,4,の英語を聞いて、正しい選択肢を選び、60%以上正解することができる。		Part1,2,3,4,の英語を聞いて、正しい選択肢を選び、30%以上正解することができる。		Part1,2,3,4,の英語を聞いて、正しい選択肢を選ぶことができない。	
評価項目2		Part 5の英文を読んで、正解を選ぶための構文と文法の理解ができる。問題を解いて60%以上正解することができる。		Part 5の英文を読んで、正解を選ぶための構文と文法の理解ができる。問題を解いて30%以上正解することができる。		Part 5の英文を読んで、正解を選ぶための構文と文法の理解ができない。	
評価項目3		Part 6, 7の英文を読んで大意を把握し、問題を解いて60%以上正解することができる。		Part 6, 7の英文を読んで大意を把握し、問題を解いて30%以上正解することができる。		Part 6, 7の英文を読んで大意を把握することができない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 ③ 学習・教育到達度目標 ⑥							
教育方法等							
概要		1. 自己の学習をモニター、考察して、各自の進路に必要な目標点数と学習計画を立てる。 2. 4年次のスコアよりもさらなる伸長を目指す。					
授業の進め方・方法		4 年次の英語科目の成績により、受講希望者を 3 つのレベル・クラスに分けて授業を行う予定である。クラス分けの詳細については、前期末までに掲示板等を利用して発表する予定である。 各自が到達目標を達成できるよう、事前に予習および復習を自発的に行うことを期待する。					
注意点		・教科書、辞書（電子辞書も可）を忘れずに持参すること。 ・授業では、携帯電話・スマートフォンはバッグやロッカーに入れ、触らないこと。 なお、授業中の私語、居眠り、携帯電話等の使用については課題点減点をもって対処する。					
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	ガイダンス Unit 1			授業概説	
		2週	Unit 1 Unit 2			Office Meeting	
		3週	Unit 2 Unit 3			Flyer for restaurant	
		4週	Unit 3 Unit 4			Talk at the start of a business meeting	
		5週	Unit 4 Unit 5			Magazine article	
		6週	Unit 5 Unit 6			Announcement at the start of an office event	
		7週	Unit 6 Unit 7			Questions to ask about future plans	
		8週	後期中間試験			既習内容の確認	
	4thQ	9週	答案返却と解説 Unit 7			Recorded telephone message	
		10週	Unit 8 Unit 9			Text message	
		11週	Unit 9 Unit 10			Radio weather news	
		12週	Unit 10 Unit 11			Invitation letter	
		13週	Unit 11 Unit 12			Office presentation	
		14週	Unit 12 Unit 13			Job advertisement	
		15週	Unit 13 Unit 14			Request for return of a survey, interview	
		16週	後期定期試験			既習内容の確認	
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	後3	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	後2	

				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	後1
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	後4
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	後5
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	後6
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	後7
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	後11
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	後10
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	後12
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	後8
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	後9
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3	後13
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3	後14
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	後12
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3	後11
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3	後15
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	後15
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	3	後10,後16
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3	後14

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	0	20	100
基礎的能力	80	0	0	0	0	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0